

平成2年度活動報告

近畿六大学春季リーグ戦

◇3月26日グリーンスタジアム神戸

和 大	000	000	0	0
甲南大	184	230	×	18

(和) 林・依光・織田
 (甲) 井本・高橋・井上一大石
 [三] 園井・奥野2・井本(甲)
 [二] 岸部・園井・井本(甲)、大林(和)
 ※7回コールド

◇3月31日住之江球場

神外大	000	311	001	6
甲南大	000	302	20×	7

(外) 加藤-真下
 (甲) 高橋・井本一坂
 [本] 井本(甲)
 [二] 加藤(外)、井本・高橋(甲)

◇4月2日住之江球場

甲南大	103	012	005	12
神外大	200	000	000	2

(甲) 井本-大石
 (外) 神部-真下
 [本] 奥野(甲)
 [二] 奥野・大西(甲)、松田(外)

◇4月7日住之江球場

近 大	003	001	001	5
甲南大	001	400	01×	6

(近) 吉岡-正司
 (甲) 井本-大石
 [二] 正司・吉岡(近)、奥野・岸部(甲)
 井本(甲)

◇4月9日住之江球場

甲南大	010	020	003	6
近 大	000	000	000	0

(甲) 高橋-大石
 (近) 犬伏-正司
 [二] 奥野・井本2(甲)

◇4月11日住之江球場

神商大	000	003	000	3
甲南大	102	100	10×	5

(商) 久木-川崎
 (甲) 井本-坂
 [二] 鬼木・垣内(商)

◇4月14日神戸市民球場

甲南大	200	500	000	7
神商大	100	000	000	1

(甲) 高橋-大石
 (商) 久木・藤井-川崎
 [二] 奥野・井本・三宅(甲)

◇4月17日神戸市民球場

大経大	000	000	000	0
甲南大	000	000	01×	1

(経) 関根-小林
 (甲) 井本-坂
 [二] 向井(経)、奥野(甲)

◇4月19日神戸市民球場

甲南大	200	010	002	5
大経大	220	002	20×	8

(甲) 高橋・井本-大石・坂
 (経) 池田・関根-小林
 [本] 関根(経)
 [二] 井本(甲)、荒木・水道(経)

◇4月21日甲南大グラウンド

甲南大	242	500	0	13
和 大	000	100	0	1

(甲) 井本-坂
 (和) 中尾・大林-織田
 [三] 岸部(甲)
 [二] 園井(甲)、森内(和)
 ※7回コールド

チーム名	甲南大	大経大	神商大	近畿大	神外大	和 大
甲南大	○×	○×	○×	○×	○×	○×
大経大	○×	○×	○×	○△	○×	○×
神商大	××	××	○×	○×	○×	○×
近畿大	××	×△	××	○×	○×	○×
神外大	××	××	××	××	○×	○×
和 大	××	××	××	××	××	○×

○勝 ×敗 △引分

打撃十傑

1	井本 利之(甲)	0.526
2	奥野 孝幸(甲)	0.442
3	関根 清栄(経)	0.378
4	吉岡 裕二(経)	0.364
5	松田 元治(外)	0.357
6	園井 貴雄(甲)	0.351
7	岸部 秀樹(甲)	0.349
8	垣内 修司(商)	0.343
8	中山 孝一(外)	0.343
10	山根 克之(外)	0.333
10	鬼木 和幸(商)	0.333
10	荒木 靖生(経)	0.333

表彰選手

最高殊勲選手	井本 利之(甲)
首位打者	吉岡 裕二(経)
最優秀投手	岸部 秀樹(甲)
最多勝利投手	井本 利之(甲)
盗塁王	岸部 秀樹(甲)
打点王	井本 利之(甲)
本塁打賞	関根 清栄(経)
防御率	0.75
打率	0.526
勝利数	6勝
盗塁数	14個
打点	19点
本塁打数	4本

ベストナイン

(投)	井本 利之(甲)
(捕)	真下 敏一(外)
(一)	奥野 孝幸(甲)
(二)	中山 孝一(外)
(三)	吉岡 裕二(経)
(遊)	園井 貴雄(甲)
(外)	松田 元治(外)
	岸部 秀樹(甲)
	荒木 靖生(経)

素晴らしき大学時代

卒業してもう10年を迎えようとしている。

そんな今でも充実していた大学生活を懐かしく思う事がある。

数ある思い出の中でも準硬式野球部で過ごした日々は、間違いなく、とびきり輝いていたに違いない。

我が学年は部員3人マネージャー2人というアンバランスな組合せで始まった。

それぞれが個性に溢れ、向いている方向は全く違うように思えた。

それが不思議な事に上手く調和し、それぞれの役割を果たしていったのである。

そして4年目にはしばらくご無沙汰をしていた全日本への出場権を手に入れる事が出来た。

もちろん、私達だけの力だけで獲得出来たなどとは思ってはいない。

有り難い事に六甲アイランドには野球が充分できる環境、そして、導いて下さった先輩、素晴らしい後輩が居てこそ勝ち得た結果だと思っている。

4年間という短い間にはいろいろな事があったが、私はこの準硬式野球部で青春(ちょっと古い表現だが、)を過ごした事を今も、なお誇りに思っている。

平成3年卒業 大東泉
(旧姓守岡)

01 第72号 学 園 だ よ り 平成2年3月1日発行

白球高く、夢大きく

六甲アイランドの最南端に野球場をもつ体育会軟式野球部は、部員一十四名・女子マネージャー六名から成る課外活動団体です。「軟式」といっても、使われているボールは、昔でいう「トッポボール」(弾跳式)で、打球が体に当たれば青く腫れ、時には骨折、デッドボールで即入院ということもある、危険を伴ったスポーツです。

我が部はもとも、「準硬式野球部」という名称で昭和二十八年に誕生し、この年から「硬式野球部」が生まれたという古い伝統をもち、かつては、全日本選手権ベスト4、リーグ戦五連覇、優勝回数歴代二位(二十二回)など、輝かしい部歴を誇っています。しかし、近年部員不足に悩み、長く低迷を続けていました。昭和六十二年、八年ぶりの優勝(秋季)をきっかけにして着実に力をつけ、昨年は準優勝、優勝を残すことが出来ました。

普段の練習は毎日二、三時間、基本を重視し、短い時間ながらも内容のある練習を心掛けています。平日

軟式野球部

は授業のため、人数がなかなか揃わず、五、六人でボールを追い回すこともありますが、土・日曜日には全員が集まり、0日の方々からの御指導のもとで、実戦的な練習に励んでいます。他大会の強豪に比べると、初心者の割合が比較的多く、ボールの握り方やバットの振り方などから取り組む者もいます。

合宿は、春と夏に各一回、一週間から十日間行います。特に春合宿は宮崎県において、読売巨人と同じ宿舎を使って、プロ野球選手の合宿生活や練習を見学し、少しでも勉強になるように努めています。

主な試合は近畿六大学準硬式リーグ戦(春季・秋季)で、これに勝つと、関西大会、全日本大会と駒を進めることができます。この過程において、過去に全関西・全日本選抜選手を数多く輩出しています。

今、我が部は、戦力的に見ても近年でも充実しています。全日本選手権大会出場も決して夢ではありません。常に挑戦者の気持ちは忘れず、各自がそれぞれの役割を果たせば、目標は必ず達成できると信じています。

昨年、部員が試合中の御見舞金をいただき大変お世話になりました。また、グラウンド設備の充実にも多大の御援助を賜り、まことにありがとうございます。これからも甲南の名に恥じないようがんばりますので、温かい御声援、よろしくお願ひ申し上げます。(大西弘純 経三)



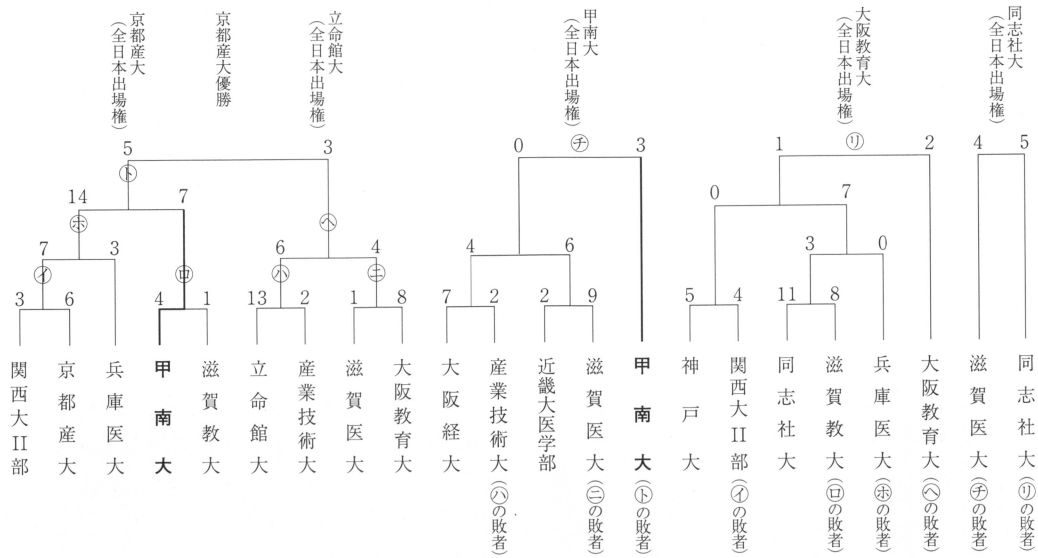


平成3年卒業のメンバー



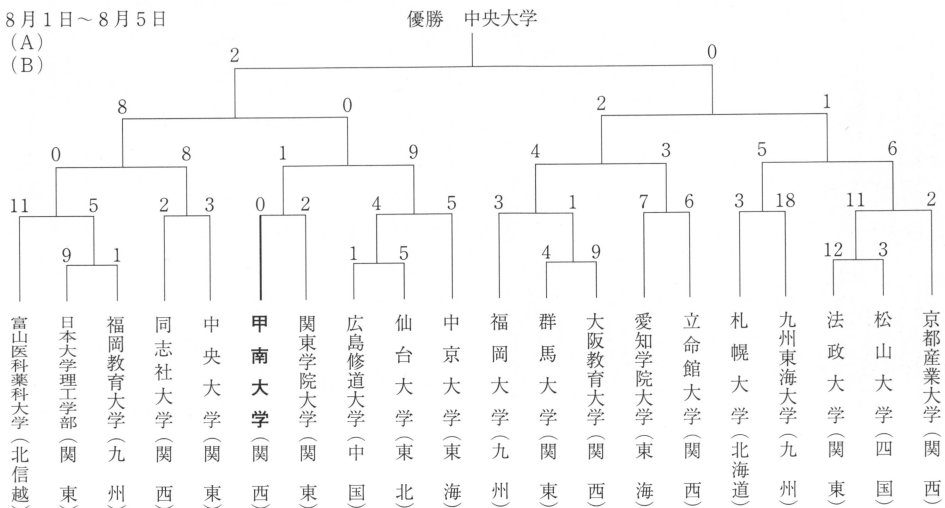
1990年全国大会(於福井)

関西地区大学準硬式野球選手権大会



第42回全日本大会

平成2年(1991)8月1日~8月5日
 会場: 福井県営球場(A)
 福井市営球場(B)



近畿六大学秋季リーグ戦

◇8月24日住之江球場

和 大	000	000	0	1
甲南大	101	431	×	10

(和) 林・中尾-長谷川
(甲) 高橋-大石・坂
〔本〕 鷺見 (甲)
※7回コールド

◇8月27日神戸市民球場

甲南大	300	000	22	7
和 大	000	002	10	3

(甲) 井上・高橋-大石・坂
(和) 織田-長谷川
〔本〕 中尾 (和)
〔二〕 岸部2・奥野2・三宅 (甲) 中尾2 (和)
※規定により8回時間切れ

◇8月29日住之江球場

神外大	000	100	000	1
甲南大	012	000	00×	3

(外) 加藤-真下
(甲) 高橋-大石
〔三〕 奥野 (甲)
〔二〕 大石 (甲)

◇9月1日住之江球場

甲南大	001	213	000	7
神外大	010	000	000	1

(甲) 井上・高橋-坂
(外) 加藤・真下
〔二〕 岸部 (甲)

◇9月5日住之江球場

近 大	010	010	002	4
甲南大	000	002	000	2

(近) 大伏・西川-早川・吉村
(甲) 高橋-大石・坂
〔本〕 吉村 (近)
〔二〕 奥野 (甲)

◇10月15日神戸市民球場

甲南大	100	020	301	7
近 大	000	002	000	2

(甲) 高橋-大石・坂
(近) 大伏・佐々木-早川
〔本〕 園井 (甲)
〔二〕 鷺見・三宅 (甲) 大伏・明賀 (近)

◇10月17日住之江球場

神商大	000	000	0	0
甲南大	004	211	×	8

(商) 藤井・久木-川崎
(甲) 高橋-坂・大石
〔本〕 園井 (甲)
※7回コールド

◇10月20日神戸市民球場

甲南大	000	602	1	9
神商大	002	000	0	2

(甲) 高橋-大石・坂
(商) 久木・藤井-川崎・戸沢
〔二〕 園井 (甲)
※7回コールド

◇10月22日住之江球場

大経大	000	001	000	1
甲南大	010	000	02×	3

(経) 横井-本間
(甲) 井上・高橋-大石
〔二〕 荒木 (経) 奥野 (甲)

◇10月27日住之江球場

甲南大	053	000	000	8
大経大	030	000	000	3

(甲) 高橋-坂
(経) 横井・寺内-本間
〔本〕 奥野 (甲) 荒木 (経)
〔三〕 奥野 (甲)
〔二〕 岸部・三宅・坂 (甲)
人見・荒木・清水・鶴原 (経)

チーム名	甲南大	大経大	神商大	近畿大	神外大	和 大
甲南大		○	○	×	○	○
大経大	×		×	×	○	○
神商大	×	○		×	○	×
近畿大	○	○	○		○	×
神外大	×	×	×	×		○
和 大	×	×	○	×	×	

○勝 ×敗 △引分

打撃十傑

1	奥野 孝幸 (甲)	0.459
2	園井 貴雄 (甲)	0.414
3	荒木 靖生 (経)	0.378
4	川崎 健司 (商)	0.375
5	鷺見 匡紀 (甲)	0.368
6	芳木聡一郎 (商)	0.363
7	本間 史郎 (経)	0.351
8	中山 孝一 (外)	0.346
9	吉川 雅也 (和)	0.321
10	堀 博之 (外)	0.316

表彰選手

最高殊勲選手	三宅 隆夫 (甲)
最優秀投手	高橋 幸広 (甲)
首位打者	奥野 孝幸 (甲)
最多勝利投手	高橋 幸広 (甲)
盗塁王	鷺見 匡紀 (甲)
打点王	園井 貴雄 (甲)
本塁打王	本間 史郎 (経)
新人王	本間 史郎 (経)
	堀 博之 (外)

ベストナイン

(投)	高橋 幸広 (甲)	防御率	1.26
(捕)	川崎 健司 (商)	打率	0.459
(一)	奥野 孝幸 (甲)	勝利数	8勝
(二)	中山 孝一 (外)	盗塁数	12個
(三)	鷺見 匡紀 (甲)	打点	12点
(遊)	園井 貴雄 (甲)		
(外)	荒木 靖生 (経)		
	芳木聡一郎 (商)		
	吉川 雅也 (和)		



平成4年卒業のメンバー